



立志 鍛錬 協調

令和元年11月12日号

立三申

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H. School

だより

全員で創り上げた合唱コンクール

校長 山口真一

各地で文化的な行事の開催が続く時期となりました。本校でも11月1日（金）、たましん RISURU ホールにおいて合唱コンクールを開催いたしました。吹奏楽部の演奏もあり、今年も多くの方を感動させることができた実りある発表会となりました。

合唱の練習期間になると校舎中に歌声が響き、とても豊かな気持ちになります。今年は生徒会が企画したノーチャイム週間もあって、落ち着いた雰囲気の中で密度の濃い練習ができました。本校の行事は生徒一人一人が主体的に取り組んでいることで、多くの成果を生み出しています。各クラスの実行委員は中心となってみんなをまとめ、実行委員会だよりを出すなどしてコンクールを盛り上げました。音楽の授業や練習では、パートリーダーが話し合いの中心となって、合唱を完成させていきました。昨年度から国語でも歌詞を取り上げて、その意味を深く理解する授業を実施しています。教科横断的な取組の一つです。こうした取り組みを通して協調性や自主性が養われ、観る人を感動させる合唱コンクールが生まれました。今年のスローガン「声春 ～素敵なお音色の1ページ～」が見事に達成できました。当日は多くの皆様が来場し、称賛のお言葉をいただきました。ありがとうございました。

また3日（日）には同じくたましん RISURU ホールにて、第39回中学生の主張大会が開催されました。本校でも自分の考えをまとめ表現する大切な教育活動の一つとして、夏休みの課題として全学年で取り組んでいます。各学年からの代表者が全生徒の前で発表する全校意見発表会も実施しています。主張大会では各地区の代表者15名が堂々と自分の主張を述べ、中学生のレベルの高さを見せてくれました。本校からは2名が発表者となり、3年生の佐々木優希菜さんが議長賞を、2年生の浅井紗和さんが青少年問題協議会会長賞を見事に受賞しました。また、3年生の小川璃乃さん、和田二葉さん、奈良井壮宇君、2年生の松岡優希乃さんも優秀賞で表彰されました。当日は3年生の稲田真波君が司会を立派に務め、三中生が様々な場面で活躍した主張大会でした。こうした活動を通して思考力や表現力が着実に向上していることを嬉しく思います。